

宮本 まさかず

全国本田労働組合連合会 常任顧問
鈴鹿市議会議員

『夢・希望・活力』 持続可能な鈴鹿の未来に向けて!

発行所

発行:全国本田労働組合連合会 三重地方協議会
住所:〒513-0847 三重県鈴鹿市平田町1907 本田技研労働組合 鈴鹿支部内

発行責任者 高津 健一

電話番号:059-378-0339



陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のことと存じます。今回は新年度予算が成立した3月定例会の内容を中心に報告いたします。新型コロナウイルス(COVID-19)の影響が心配されるではありますが、持続可能な鈴鹿の将来に向けて「鈴鹿市総合計画2023後期基本計画」がスタートする重要な年度でもあります。今後も現場目線で安心・安全な「まちづくり」をめざし取り組んでまいります。

引き続きのご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願い申し上げます。

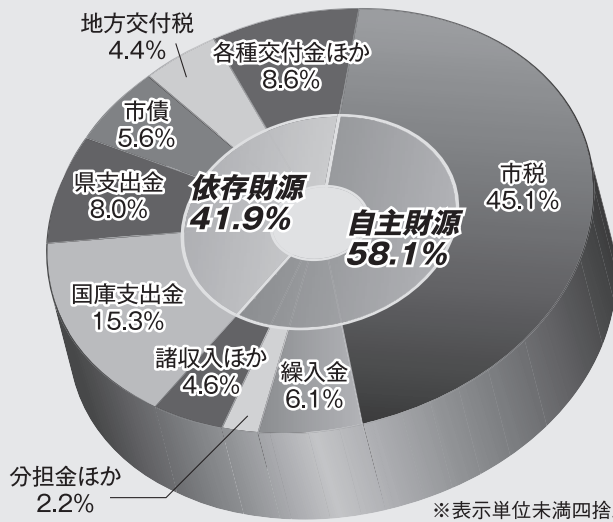
宮本 正一

令和2年度 鈴鹿市予算

鈴鹿市議会3月定例会にて、新年度予算が承認されましたので抜粋してご報告いたします。

令和2年度は、「総合計画2023」めざすべき都市の状態に対する成果指標の向上と新たに作成した目標値へ到達させるため、政策協議を重ねた上で後期基本計画の実行計画に基づき予算編成が行われました。

歳入



※表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

●国庫支出金 / 県支出金

幼児教育・保育の無償化にかかる事業費などの増により大きく増加

●自動車取得税交付金

令和元年10月より自動車税環境性能割導入により廃止

●繰入金

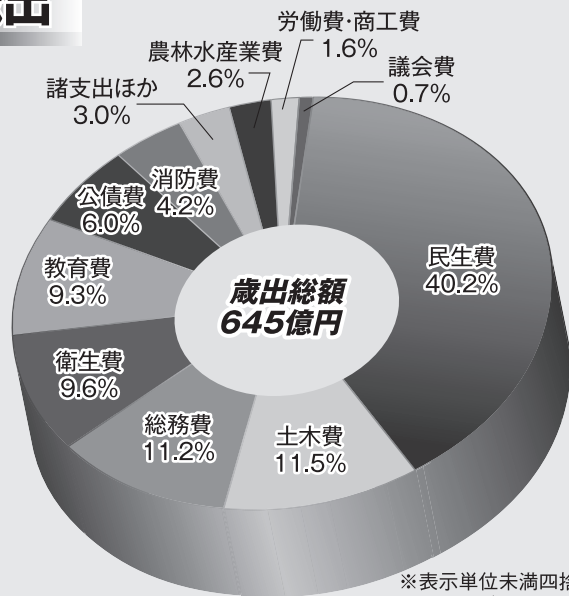
財政調整基金より25億円と地方債減債基金から4億3,000万円を計上

●市債

令和元年度より14億6,700万円の減額

区 分	令和2年度	前年度増減額
市 税	29,105,480	341,735
繰 入 金	3,915,431	1,122,654
分 担 金 ほか	1,416,298	▲746,507
諸 収 入 ほか	2,985,706	71,424
国 庫 支 出 金	9,892,622	807,266
県 支 出 金	5,162,084	439,132
市 債	3,611,400	▲1,467,000
地方交付税	2,850,000	▲250,000
各種交付金ほか	5,560,979	874,296
自動車取得税交付金	0	▲60,000
歳入合計	64,500,000	1,133,000

歳出



※表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

●前年度当初予算比較

11億3,300万円 1.8%の増加

●教育費

教育情報化推進費や幼児教育、保育の無償化にかかる事業費などの増により増加

●総務費

市立体育館大規模改修費などの減により減少

●衛生費

清掃センター改修事業対策費用などの減により減少

区 分	令和2年度	前年度増減額
民 生 費	25,901,157	115,299
土 木 費	7,438,059	577,248
総 務 費	7,222,972	▲406,337
衛 生 費	6,181,880	▲1,252,041
教 育 費	6,029,695	1,199,478
公 債 費	3,882,323	▲101,637
消 防 費	2,716,643	240,774
諸 支 出 ほか	1,950,000	400,000
農林水産業費	1,650,701	170,893
労働費・商工費	1,045,919	198,733
議 会 費	480,651	▲9,410
歳入合計	64,500,000	1,133,000

宮本議員のコメント

予算案提出時点では、市税全体として3億4,000万円程度の増収、また、地方消費税交付金につきましても5億8,000万円の増収が見込まれるなど、一般財源全体としては前年度当初予算から10億円以上増加となっています。しかしながら、新型コロナウイルスによる社会影響は不透明な状況であるため、今後の経済活動などに注視しつつ、市政や財政に及ぼす影響を確認する中で引き続き、意見・提言を行ってまいります。



鈴鹿市 自主防災組織について

地域住民が協力・連携して災害から「自分たちのまちは自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織で、日頃から防災訓練など災害に備えた様々な取り組みを実践するとともに、災害時には被害を最小限に食い止めるために活動しています。また、復旧・復興時には自分たちのまちの再生に向けて様々な取り組みを行います。

自主防災組織の必要性については、大規模な災害が発生した際、被害の拡大を防ぐためには、国や県、市町村の対応(公助)だけでは支援が十分に行きわたることは難しい状況になることから、自分の身を自分で守る(自助)と地域や近隣の人で互いに協力しあう(共助)が必要になります。

実際に阪神・淡路大震災では、がれきの下から救助された人のうち、約8割が家族や近所の住民などによって救出されたという報告があります。日頃から自主防災組織の活動を通じて、地域住民同士が力をあわせて防災対策に取り組んでいくことが大切です。

自主防災組織の役割

平常時

- ・地域の安全点検
- ・避難経路、避難場所の確認
- ・防災知識の普及、啓発
- ・防災資器材の点検、整備
- ・自力で避難や移動が困難な方などの確認
- ・防災訓練
- ・地区防災計画の策定

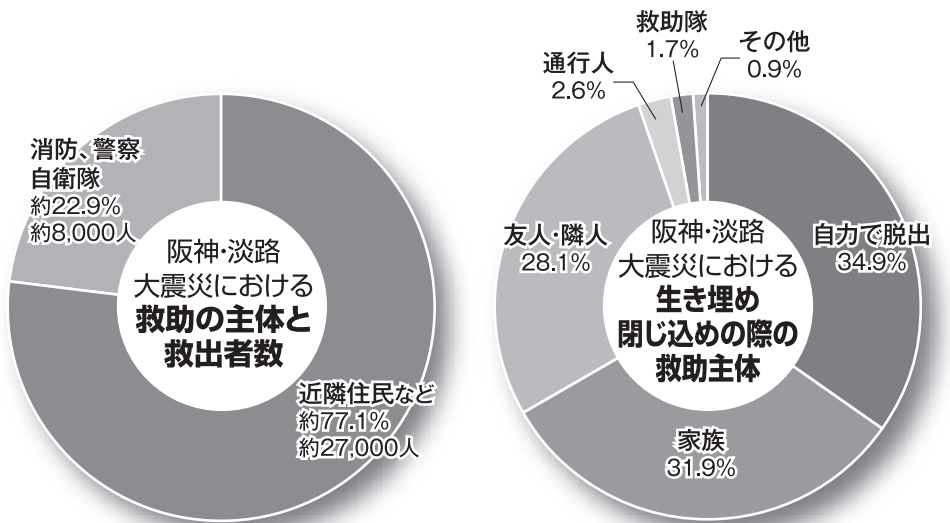
災害時

- ・避難誘導
- ・安否確認
- ・初期消火
- ・救出、救護
- ・情報収集、伝達
- ・避難所運営
- ・復旧、復興へ向けた取り組み

鈴鹿市議会大規模災害対応マニュアル

1.目的
鈴鹿市内において大規模災害が発生、または発生する恐れがある場合に、災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、市民生活の安全・安心を確保するため、鈴鹿市議会が鈴鹿市災害対策本部と連携し、大規模災害時の対応を明確にすることを目的とする。

- 2.対象とする災害
3.基本方針
4.災害時における対応
5.その他



※出典:平成28年度版「防災白書」より引用

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が不一致の場合があります。

宮本議員のコメント

昨今の気候変動や、心配される南海トラフを震源とした東南海地震など大規模自然災害から身を守るためには、政府や自治体による「公助」の取り組みとあわせて日頃の防災活動など、地域での「共助」、自らを守る「自助」を有機的に進めることが重要であります。この度、鈴鹿市議会といたしましても、議会運営委員会を中心に調査・研究の議論を進め、災害から市民生活の安心・安全確保、発災から早期の復旧に議会が貢献できるよう「鈴鹿市大規模災害対応マニュアル」を策定いたしました。(詳細は鈴鹿市議会ホームページをご参照ください)

AGF鈴鹿体育館改修工事について

AGF鈴鹿体育館は、施設の長寿命化と2021年に開催されます「三重とこわか国体」ハンドボール競技とエアロビクスのデモンストラレーションの開催を目的とし、2018年10月に大規模改修工事に着工し、この度、2020年4月1日にリニューアルオープンを迎えることとなりました。

主な改修内容

建築工事	屋根防水の改修、施設外壁の改修 メインアリーナ及びサブアリーナ床の全面改修 エレベータの設置 施設内トイレを始め、各居室を全面改修
電気設備工事	メインアリーナ及びサブアリーナ照明のLED化 メインアリーナ及びサブアリーナの音響機器の更新 各種消防機器の更新
機械設備工事	メインアリーナ空調機器の更新 サブアリーナに空調機器を新設 トイレ衛生器具、給排水管などの更新



改修工事後のAGF鈴鹿体育館



新型コロナウイルス 鈴鹿市の対応

新型コロナウイルス感染症が世界的に広がっています。鈴鹿市では令和2年1月31日に「鈴鹿市コロナウイルス感染症対策連絡調整会議」を実施しました。その後、2月7日に「鈴鹿市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、市主催の全てのイベント・行事について縮小、延期または中止などの判断を行っています。

刻々と変わる状況の中、市民の皆さまが安心して生活できるよう、必要な情報を鈴鹿市ホームページなどで随時発信されています。



新型コロナウイルスに感染した人は、ほとんどが無症状ないし軽症であり、既に回復している人もいます。国内の症例を分析すると、発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える人が多い中、一部の症例は、人工呼吸器など集中治療を要する重篤な肺炎症状を呈しており、高齢者・基礎疾患を有する者では重症化するリスクが高いと考えられます。

※感染症専門医 忽那 賢志ホームページより引用

活動月報

1月 January

- 5日 令和2年 鈴鹿市消防出初式
- 6日 鈴鹿商工会新春賀詞交歓会
- 8日 文教環境委員会
- 12日 令和2年 鈴鹿市成人式
- 15日 全員協議会
- 16日 全国本田労働組合連合会第101回中央委員会
- 17日 連合三重鈴鹿地協結成30周年記念2020新春旗開き
- 27日 都市計画審議会
- 29日 議会マネジメント研修

2月 February

- 1日 第51回駅伝大会 本田技研工業(株)鈴鹿製作所
- 3日 文教環境委員会
- 5～6日 会派視察(第3回地方創生EXPO)
- 8日 鈴鹿市特別支援学級連合「卒業生を送る会」
- 10日 全員協議会/会派会議
- 12日 議会運営委員会
- 19日 本会議開会
- 20日 議会運営委員会/会派会議

3月 March

- 3日 本会議質疑
- 4日 本会議代表質問
- 4～10日 本会議一般質問
- 9日 議会運営委員会
- 10日 予算決算委員会
- 11日 文教環境委員会
- 18日 予算決算委員会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 本会議採決/全員協議会
- 30日 本会議(3月臨時議会)